

映像	内容
<p>タイトル VTR</p>	<p>オープニングタイトル</p>
<p>スタジオ</p>	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>廣川： 廣川陽子です。 さて、夏休みも後半ですね。</p> <p>田村： 後半？もう後半？</p> <p>廣川： あっという間ですね。</p> <p>田村： 早いですね、ホンマに。</p> <p>廣川： そして、夏の一大イベント「吹田まつり」がこないだ行われまして、田村さんも参加されたんですよね？</p> <p>田村： そうなんです。 8月4日の方にジャルジャルの後藤くんと一緒にボランティアですよ。 「闇営業、闇営業」って言うてる時代に、交通費も全部自腹の「ひかりサービス」と後藤くんと2人で言ってましたけど。 吹田まつり、参加してきました。</p> <p>廣川： その様子を皆さんにご覧いただきたいと思います。 8月3日、4日の様子をまとめてご覧ください。</p> <p><u>廣川ナレーション</u> まずは、3日に行われた江坂会場からご紹介しましょう。 江坂地域の自治会や学校のPTA、企業、そして学生たちが一緒になって会場を盛り上げています。</p> <p>ずらっと並んだ模擬店は自治会や企業が担当。</p>

皆さん、とても楽しそうですね。

会場に作られたステージや、道路を封鎖して行われるダンスコンテスト「好いたおどり」は学生が担当。26の団体が日ごろの練習の成果を披露しました。

日も暮れ夜に差し掛かると、子どもたちがペットボトルなどで作ったイルミネーション「アステラス」が点灯。今回は第50回を記念し、シンボルツリーも登場しました。

続いては、千里南会場です。何と言っても目を引くのが、会場の中央に作られた大きなやぐら。このやぐらを中心に、模擬店が軒を連ねます。

そして、大盆踊り大会がスタート。吹田のご当地音頭「吹田音頭」や「権六おどり」のほか定番の「江州音頭」や「河内音頭」などが行われました。

千里南会場のフィナーレを飾るのは50回記念企画「千里スカイランタンナイト」。このスカイランタン、和紙で包んだヘリウム風船の中でLEDが発光する仕組みなんです。およそ300個のスカイランタンが夜空を照らし、まつりの夜を締めくくりました。

続いては、4日に行われたJR吹田駅前会場です。

2年前から始まった吹田スプラッシュパーティーが、今年はエリアも内容もパワーアップ！田村さんとジャルジャルの後藤さんがスペシャルゲストとして登場、会場は大盛り上がりです。田村さん、このスプラッシュパーティーに参加していかがでした？

田村：
「めっちゃ楽しかったんですよ。でも注意事項で人の顔は狙わずに行きましょうねってなってるのにみんな顔ばっか狙ってくるんですよ。だから目が開けれなくて大変でした。楽しかったです。」

その後行われたパレードには市内で活動する団体とだんじりが登場。特にだんじりがぐるっと回る様子はとても迫力がありましたね。

だんじり曳行の後には、50周年記念企画のクイズ大会がスタート。
こちらにも田村さん、後藤さんが盛り上げていましたね。

田村：

「これも〇×クイズでね、凄い盛り上がりって人も多かったんですけど、間違えても正解してもどかないおじいちゃんが1人居て
景品どうしようって思ったんですけど
結局景品欲しがらなかったんで、ただ動かない人でした。
あの人に水かけたらよかったな。」

そして、吹田まつりの夜を盛り上げる「好いたおどり」がスタート。
20の団体が商店街の道路で演舞を披露。

今年は関西大学学生チーム”漢舞（かんまえ）”が迫力ある演技を披露し、総合優勝である「好いたおどり大賞」を受賞。
会場からは大きな拍手が送られました。

最後は、演者もお客さんも交じって行う盆踊り。
50回目の吹田まつりを締めくくりました。

廣川：

楽しそうでしたね。

田村：

すごい値打ちありますよね。
改めて、自分も参加したんですけど、（参加したのは）
一部なんですよね。

廣川：

2日間、各会場でいろんな催しがあって、それにたくさんの方が参加されていましたよね。笑顔もたくさん見られましたね。

田村：

今年は暑いですから、準備から皆さん大変やったでしょうね。

廣川：

皆さん、お疲れ様でした。
それでは、特集に参りましょう。
今回は「ごくごく飲もう。吹田の水道水」と題して
吹田の水道水の美味しさの秘密に迫ります。それではどうぞ。

VTR

レポーター顔出し

下水の行方に、ゴミの行方…、
吹田の裏側をなんでも知っている爽やかさんといったら誰？
そう！私、爽やか伊藤さとりです！
さて、この暑い時期にゴクゴク飲みたいのが水ですよね。
僕は「吹田の水は美味しい」と聞くのですが、アルプスからの水が
流れてきているわけじゃないのに何故なんのでしょうか？
調べてみましょう。

ナレーション

まずは、市民の皆さんに吹田の水と市販されているミネラル
ウォーターのどちらが美味しいか「きき水調査」をしました。
はたして、吹田の水が美味しいという噂は本当なんのでしょうか？
さて、こちらの男性は？

おじさん：

こっちが美味しそうやな。はい。B！

伊藤：

答えは、Bはミネラルウォーターです。Aが吹田の水道水です。

おじさん：

ああ、そうですか。

伊藤：

どうですか？違いはありますか？

おじさん：

そんな変わんない。ちょっと違うだけ。

ナレーション

続いて、こちらのお二人にもお願いしました。

伊藤：

where are you from? (どちらから?)

フランス人男性：

France. (フランス)

伊藤：

OK、OK。フランスって水こだわってますよね？

フランス人男性：
こだわってます。

伊藤：
すごい水こだわって有名ですよ？

フランス人男性：
有名なのは有名よ！ボルヴィックとかエビアンとか。
全部飲んでいいの？

ナレーション

こだわりのありそうな飲みっぷりですね。
同時に女性の方にも判定してもらいました。

伊藤：
3、2、1ドン！お～～！！
赤は、吹田市の水道水です。

フランス人男性：
おお～。

伊藤：
Bはミネラルウォーターです。ボルヴィックです。

フランス人男性：
あっ！はい、わかりました。

ナレーション

他にも様々な年代の方に飲んでいただいた結果、ほぼ半数の人が
「吹田の水が美味しい」と答えました。
すると、吹田の水道水はミネラルウォーターに引けをとらないぐらい
美味しいってことですよ。
でも、水道水がこんなに美味しいなんて、何か秘密があるんじゃない？

タイトル「ごくごく飲もう！吹田の水道水」

レポーター顔出し

そうなんです。
今回私はその事実を調べるためにこちらの施設にやって
まいりました。ここなら何かわかるはずですよ。行ってみましょう。

ナレーション

こちらの泉浄水所は吹田市内に2箇所ある浄水所の一つで、主に市南部地域へ水を供給、管理を行っている施設です。

伊藤：

吹田の水が美味しい理由を知りたくて来たんですけど、吹田は昔から水が美味しかったんですか？

水道部：

はい、そうですね。吹田の地名の由来になるんですけども、吹田というところは水が吹き出した田んぼというのが由来となっていて、「フキタ」という名称がなまって吹田（すいた）という名称に変わりました。

その吹田には「垂水の滝」「佐井の清水」「泉殿宮の湧き水」の3名水があったことから吹田の町の由来になったとも言われております。

ナレーション

吹田市は、その豊かな水源の恩恵を受けているため、淀川水系の他に地下水を原水として利用している地域があるんですよ。

伊藤：

僕が子供の時って水道水は臭いというイメージがありましたけど、それはなんでなんですか？

水道部：

昔、水道水自体の（原水である）琵琶湖の方で赤潮が大量に発生してしまって、それが原因でカビ臭が発生してしまったんです。そのカビ臭を除去するために粉末活性炭の注入処理をしてきたのですが、それでも完全には取りきることは出来ませんでした。

伊藤：

それで何か新しい試みとかあったんですか？

水道部：

平成9年から高度浄水処理と呼ばれる方法を導入して水を綺麗にしています。

伊藤：

高度浄水処理。それがポイントですか？

水道部：

はい、それがポイントなんです。

ナレーション

高度浄水処理が美味しい水のポイントということで、
早速、施設を見学させていただきました。

伊藤：

ここからは美味しいお水ができる工程を水道部の庭田（にわた）さんにお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

庭田：

よろしくお願いします。

伊藤：

淀川から美味しい水ができるまで何工程ですか？

庭田：

淀川から泉浄水所に水が来てから、その中で約8工程ありまして、
その8工程を処理するのに大体6時間かかります。

伊藤：

6時間で美味しい水が出来上がると。
僕たちが立っているところはこういった場所なんですか？

庭田：

今ここにいるのは「着水井（ちゃくすいせい）」と呼ばれる場所で、
淀川の水が一番最初に行き着く場所になります。
淀川がここから約3kmぐらい離れた場所にあるんですけど、
そこからポンプで送ってきて、この下から湧き出ているところ。
これが淀川の水になります。

伊藤：

これが淀川の水なんですね！

庭田：

そうです。

伊藤：

やっぱりちょっと色づいてますね。

ナレーション

まずは流れ着いた原水の最初の状態を見てみました。

伊藤：

これ、ちゃんと色づいてというか、まあ色的に言うと米のとぎ汁ぐらいの濁りですね。

庭田：

そうですね。

ただ、目に見えない大きさの汚れというのがたくさん浮いてるような状態になっています。

伊藤：

これが原水ということですか？

庭田：

これが原水です。

伊藤：

でも、この原水ってどんなものでもいいわけじゃないですよ？

ナレーション

そうなんです。

この大事な原水をしっかりと管理しているのが驚きの装置だったんです。

庭田：

原水を管理している装置が、これなんです。

伊藤：

これは何ていう機械なんですか？

庭田：

これは「魚類監視装置」という機械になります。

伊藤：

この魚類監視装置って、もしかしてこれメダカ？

庭田：

そうです。

メダカを使ってこの原水が安全かどうかというのを調べています。

伊藤：
そんなアナログ？！

庭田：
はい。原水に毒物が入っていた場合、このメダカが異常行動を起こします。それを2台のカメラを使って監視しています。

伊藤：
このメダカちゃんが毎日頑張ってくれて私たちの水を守ってくれてるわけですよ。

庭田：
メダカさんが頑張ってくれているからこそ、我々も安全な水が飲めるというふうになっています。

伊藤：
メダカさん、ありがとうございます。庭田さんも。

庭田：
ありがとうございます。

ナレーション

飲み水の元となる大切な原水なので、きっちり管理されているんですね。
さて、着水井では原水に凝集剤などの水をキレイにする薬品が注入され、次の混和池（こんわち）フロック形成池に水を送ります。

庭田：
ここは先ほどの着水井で薬品を入れたんですけど、その薬品をこの銀色のミキサーでかき混ぜています。

伊藤：
なじませているんですね。

庭田：
それをやることでゴミ同士がくっついて、だんだん大きくすることができます。

ナレーション

凝集剤の働きでゴミ同士をくっつけるようフロック形成池ではゆっくりと攪拌させて徐々に大きなゴミの塊に成長させているんです。

伊藤：

あーでもちょっと小さい粒になってます。こっちはちょっと粒が大きい。ここへいくと、もう“つぶつぶジュース”ぐらいになってますよ。こんなに違うんですか？

庭田：

この粒を大きくすることで、ゴミの重さがだんだん重くなっていくので次の工程でゴミを沈めるということが可能になるので、綺麗な水とゴミを分離させることができます。

伊藤：

くっついたやつがだんだん自然に重たくなるから沈んでいくんですね。

庭田：

そうです、そうです。

伊藤：

すごい！頭いいですね！

庭田：

ありがとうございます。

伊藤：

庭田さんがじゃないですよ！

ナレーション

第4の行程「沈殿池」は重たくなったゴミの塊を沈殿させて、綺麗な上澄みの水を次の工程に送り出す場所です。

なんと深さ7mのストロークを使ってゴミの塊を沈殿させているんですよ。

上澄みの水の状態を確認してみました。

伊藤：

見てくださいこれ！全然違う。

庭田：

こちらが原水で、こちらが今すくった沈殿池の水になります。

伊藤：

もう飲めそうですけどね。

庭田さん：

まだ、まだ飲めないんですよ。

伊藤：

次の工程でキレイになる？

庭田：

次の工程が吹田市イチオシのポイントになっています。

伊藤：

ちょっとそれ知りたい！

伊藤：

さあ、ここがイチオシポイントということなんですけど。

庭田：

はい。ここが吹田市が誇る高度浄水処理を行なっている施設になります。高度浄水処理というのはオゾン処理と活性炭処理の2つを組み合わせると高度浄水処理というんですけど、オゾンの強い殺菌力で水中の微生物なんかを殺菌して、その死骸を次の活性炭吸着池で活性炭に吸わせて、キレイな水が次に行くという流れで水処理を行なっています。

昔の水はよく「塩素臭い」って言われてたんですけど、塩素の代わりになるオゾンを使うことで、塩素を入れる量を少なくできるので、今はあまり「塩素臭い」って言われることが少なくなってきました。

ナレーション

そんな吹田市イチオシのオゾン処理の工程を、
今回も特別に見せてもらいました。

伊藤さん、またしても施設の奥に潜入です。

伊藤：

ここに見えるんですか？

庭田：

ここがオゾン処理している窓になります。

伊藤：

真っ暗な窓がありますけど、おお～！これがオゾン！？
すごい強力な泡が下から出てきていますけど。

庭田：

水の中の有機物や微生物を分解殺菌しています。

伊藤：

まさしくここではオゾンが戦っているわけですね？

庭田：

そうです。

ナレーション

オゾンで殺菌された水は、次の活性炭吸着池で粒状の活性炭約2mの層を底から通過し、さらにカビ臭などを取り除きます。

その後、もう一度薬品で殺菌され、より小さい交ざり物を取り除くために濾過されます。

伊藤：

ここが最終工程になるわけですね。

庭田：

そうです。ここが最終工程の急速ろ過池と呼ばれるところになります。このろ過池には約80cmの砂の層が出来てまして、この穴を通して出てきます。

伊藤：

この穴から出てきたやつはもう飲める？

庭田：

飲める水になります。

伊藤：

ちなみに1日にどのぐらいの水をここで作ってらっしゃるのですか？

庭田：

だいたい淀川の水で処理している量としては1日に3万立方メートル。

伊藤：

3万立方メートル？！

庭田：

小学校のプールでいうと大体100杯分になります。

伊藤：
100杯分ですか?! これはもう水を美味しく飲むことも大事ですが、水を大切に使うことも大事ですよ。

庭田：
そうですね。

伊藤：
ということで最後に一言キメを言いたいと思います。
これだけ一生懸命作った水、水は大切に!!

廣川：
「水は大切に!」

田村：
やってみましたね。

廣川：
そして、こちらに用意しているのが吹田市の水道水。
ちょっと飲んでみませんか?

田村：
これは飲みたいですね。いいですか?飲んで。
なんの匂いもしない。無臭ですね。いただきます。
あー、美味しい。

廣川：
これ、水道水ですか?

田村：
これは見分けたかへんかもな。

廣川：
なんの癖もないですし、匂いも「カルキ臭い」っていうのも無いのですし。

田村：
僕はバスケやるから冷水器で水飲むんですよ。
冷水器の水の味やから馴染みがある。

廣川：

水道水のイメージが変わりました。

田村：

淀川に育ててもらってる気持ちになる。淀川のことを好きになる。「あいつらが俺の中に入ってきてるんや」って。

廣川：

ぜひ、おうちの水道水、皆さんにも飲んでいただきたいです。

田村：

なんか淀川を汚さんとかうという気にもなるし。

廣川：

そうですね。

そして、吹田市では浄水施設や水道管の老朽化が進んでいるということで、市の南部地区への安定給水を目的として平成28年度から2大工事に取り掛かっています。こちらの工事は、市内に2か所ある片山浄水所と泉浄水所、この2つの間の地下に大きなトンネルを掘り、直径1mの耐震管で繋ぐことで市の南部地区への安定給水が可能となるということなんです。

田村：

なるほど。吹田は、より安心・安全な街になっていくということですね。

廣川：

もう一つの工事は、老朽化が進んで処理能力が低下している片山浄水所を処理方法の変更も含めてパワーアップ中ということです。さきほどのVTRの最後に出ていた写真が新しい片山浄水所の完成イメージだということです。

田村：

なるほど、なるほど。

廣川：

かなりカッコイイ…

田村：

そうですね。もちろんお金かかるでしょうけど、吹田は特に防災意識がすごく高まっているから、こういうことを早めにやって

	<p>おこうっていうのは、住んでる人からしたら安心ですし、有難いですよね。</p> <p>廣川： 田村さんおっしゃったように、災害時にも安定して給水できるようにということで、令和3年3月に完成予定だということです。</p> <p>田村： なるほど。先送りにはせず早めにやっていただいて、安心してね。ここに住みたいです。引っ越したい、ここに。</p> <p>廣川： 以上、特集でした。</p>
--	---

VTR③_ワンポイント手話（1分）

田村裕のすい散歩

VTR	<p>田村： どうも、すい散歩の時間でございます。 さあ、今日はですね、JR岸辺駅南側に来ております。 こちらといえば大阪学院大学があることでも有名ですけども。 そして今回は「すいたん」ですね。これはイメージキャラクターですけども、みなさん描いてくださいと言えば描けるだろうと。 ということで、田村が描いた「すいたん」。ちょっとボディがやばいですね。 それでは。みなさんに描いてもらいましょうね。</p> <p>田村： 吹田市在住ですか？</p> <p>男性1： はい。</p> <p>田村： ということは“すいたん”ご存知ですよ。</p>
-----	--

男性1：

知ってます。

田村：

おー！ちょっとね、吹田市のイメージキャラクター「すいたん」を描いてほしいんですけども。

男性1：

なんかこんな感じ…。

田村：

怖いわ（笑）

言いたいことはわかるんですけど、怖いんですよ、なんか。マンドラゴラみたいになってるんですよ。

男性1：

そう！こんなん！わかってはいたんですけど。

田村：

自分で見比べてください。

男性1：

いや、もういいです。

田村：

どっちが好きですか？

男性1：

こっち。

女性1：

上手じゃないから。

田村：

これは画力じゃなく「愛」なんですよ。

「吹田愛」を見せてほしいんですよ、お母さん。

田村：

これで完成？ ただのクワイです。

クワイのキャラクター。頭にあっただけ描きだすのは難しいという…。

お母さんこれは“クワイたん”です。

田村：

ジェイコムご覧になられてます？

女性2：

ジェイコムいつも見えます。

田村：

あっ、見てくれてます？ ありがとうございます。

ということは、もちろん「すいたん」ご存知ですよ？

女性2：

「すいたん」、わかります。

田村：

ですよ。「すいたん」かわいいですよ。「すいたん」好きですか？

女性2：

あんまりねえ…、かわいいと言うか…（笑）

田村：

そんな「すいたん」なんですけどね、

吹田市イメージキャラクター「すいたん」…

女性2：

描いてくれ？

田村：

はい！

女性2：

うわ～！

田村：

なんででしょうねえ…、象形文字みたい。

「草かんむり」って、どういうことなんですか（笑）

女性2：

上になんかちょこちょこと、乗ってたみたいね。

田村：

頭にね、何か生えてるイメージはあったんですね。

草かんむりのキャラクター、たぶん初やと思いますので、誰か実写化していただいて、キャラクター化していただける日が来ることを願っております。

女性2：
すいませ～ん。

田村：
「すいたん」ご存知ですよ。

女性3：
はい。

田村：
ね…（笑）

女性3：
知ってます。

田村：
吹田市のイメージキャラクター「すいたん」を描いてほしいんですよ。

女性3：
あ、はい。わかりました。

田村：
おー！

田村：
いいですねー。

女性3：
「すいたん」

田村：
どこがやねん！どこが「すいたん」やねん！
さあ、正解はこちらでございます。

女性3：
でも、ちょっと似てますね。緑の感じが…目と…。

田村：

似てない似てない。いや全然ちゃうやん。

女性3：

もう覚えました。

田村：

覚えた？じゃあ、はい。

田村：

すごいすごい。だいぶ成長を遂げたけど、「まりもっこり」やね。

田村：

何してるの？

女子学生：

学校帰りです。

田村：

どうやった？今日の学校は。

女子学生：

期末テストです。

田村：

あーまじで？どうやった？できた？

女子学生：

全然できひん。

田村：

えーあかんやん。

女子学生：

やばい、「つのつの」しか描かれへん。

田村：

「つのつの」て何なん。なんで2回言うん。

田村：

まなちゃんの「すいたん」は、どんな感じになったんでしょうか。

おー！これは、今までの中では一番近い！

女子学生：

「つもの」じゃなかった。

田村：

何なん、「つもの」って、だから。こうやって見たらどう？

女子学生：

つもの…。

田村：

「つもの」って何なん！

期末テスト頑張ったけど、今日から中間テストの勉強始めるねんで。
めっちゃええ顔した…（笑） 「なんでそんなこと言うの!？」ていう（笑）

田村：

というわけでございまして、皆さんに「すいたん」を描いていただきました。

じゃあ、今日のベストオブ「すいたん」は、「草かんむりすいたん」。
やっぱりこれが一番インパクトが大きくて、しかもこれを描いたのがね、シルバーヘアの上品な奥様から出てきましたので、そのギャップも良かったでしょう。象形文字…草すいたんです。またあなたの街でも「すいたん」を描いてもらいに行くかもしれませんで練習しといてね。

スタジオ

田村：

続いては市内の出来事などをご紹介します「吹田のトピックス」です。

廣川：

今回は水道に関するイベントをご紹介します。

廣川 ナレーション

7月27日、水道部庁舎で「第8回水道フェア 夏休みすいすいくん祭り」が開催されました。

これは、水道水の安全性や美味しさを広め、水道事業への理解や関心を深めてもらうとともに、「地域の水道」として愛され親しんでもらえるようにと開催されているものです。

会場は4つのエリアに分かれ、「学びエリア」では淀川の水をろ過装置や活性炭などを使って綺麗にする「水の実験教室」がおこなわれました。

また、水道管の漏水した箇所を修理する実演がおこなわれ、実演後には来場者も修理を体験していました。

「水循環エリア」では、給水タンク車から非常用給水袋に水を入れたり、それがどのくらいの重さになるかを体験する「応急給水体験」がおこなわれていました。

このほか「あそびエリア」ではいろいろなゲームができたり、「出店エリア」ではきき水がおこなわれるなど、来場者は吹田市の水道事業について楽しみながら学んでいました。

廣川：

以上、吹田のトピックスでした。
さあエンディングでございます。

田村：

エンディング～。 あっという間。
夏休みももう終わり？

廣川：

そうですね。もう一瞬ですよ。

田村：

夏休みもエンディング？ みんな大変や。宿題とか。

廣川：

頑張ってくださいね。

田村：

ほんま大変やったわ。宿題。
ちゃんとやるタイプでした？

廣川：

いや。後半に追い込んでやってました。

田村：

今どきの子たちはどうなんやろ。マジメなんかな？

廣川：

田村さんは？

田村：

俺は最後の一日でやってましたよ。全然間に合わなかったです。
めっちゃキてましたもん、家族に。「誰か手伝ってくれや！」って。

廣川：

そうならないように、皆さんは早め早めに。今なら間に合いますから。

田村：

しっかりやってください。
それではまた次回お会いしましょう。 さようなら。

	<p>廣川： さようなら。</p>
--	-----------------------